

奈良市議会議員

森田 一成

Morita Kazunari



都跡地区

変わりゆく平城宮跡周辺

スピード感あるまちづくりを

奈良市議会の森田一成は、市役所前の大宮通りに計画されている JW マリオットホテルの誘致、イトーヨーカドー閉店後の跡地活用、国営化された平城宮跡歴史公園をはじめ、変わりゆく都跡地区のまちづくりや、一昨年県と奈良市で締結されたまちづくり包括協定に関する市内4地域(平松、西大寺駅周辺、八条大安寺周辺、奈良公園周辺)についても、市に早期の計画案策定を訴えています。

● 都跡地区

国際級のホテルが大宮通りに進出することを契機にインバウンド需要のさらなる取り込みが必要となっており、誘致の工夫が求められます。

また県が発表した近鉄奈良線の移設計画への調査について、将来的な大和西大寺駅の改修計画に取り組み、大宮通りや国道24号をはじめとする交通渋滞の解消と交流人口の増加を図っていくべきで、市に対しては県と情報を密にし、都跡地区のまちづくりを一体的に進めていくことを主張

しています。

またイトーヨーカドー奈良店が9月に閉店し、新たに観光型施設がリニューアルオープンすることを受け、その跡地活用をスピード感を持って計画し、今後の観光客のニーズを的確に捉えていくことが重要と考えています。

● 平松地区

一昨年県と奈良市で締結されたまちづくり包括協定のうち、平松周辺地域での取り組み状況は、県主催の総合医療センター跡地活用プロジェクト会議において協議を重ね、県が基本構想策定をする予定になっていますが他の地域に比べて遅れも生じています。

また、県の構想案に盛り込まれている事業には、在宅医療介護連携支援センターの設置が盛り込まれていますが、県は、民間活力の導入を中心とした計画策定を検討しています。

過大な期待は、まちづくりの主体性を失いかねず、森田は病院跡地に県事業として地域活性化の核となる施設を設置し、県がその責任を果たしていくべきだと主張しています。

今後、県に対して市はこういった声を伝えて、次世代につなげる責任あるまちづくりに取り組んでいくことが必要と考えています。

● 西大寺駅周辺

基本構想策定をするため市は交通量調査を行っています。また、南北自由通路を始めとしたさまざまな周辺事業を進めていく上での財源確保は非常に厳しい状況でもあるため、国の社会資本整備総合交付金の確保に向けて努力しています。

各地域のまちづくりが今後、県が主体性を持って、また市が各地域の市民の声を丁寧に拾い上げ、スピード感を持って進めていくことが重要と考えています。

地域と共に6期、さまざまな施策を展開



都跡地域ふれあい会館



六条緑町集会所



赤膚町ふれあい会館

市民の皆さまが暮らしやすい町にするため、ふれあい会館の建設や、道路、橋の補修などさまざまな施策を展開してまいりました。



改装され5月中旬に竣工の伏見分団ポンプ格納庫



秋篠川沿いの柵の修繕

市民の皆さまが暮らしやすい町へ



北野橋



三条大路三丁目道路



育音寺橋

所属団体
役職

- (財)奈良県青少年会館評議員
- 奈良県青年団協議会顧問
- 奈良市青年団協議会監事
- 都跡地区子供会顧問
- 三条・四条大路2・3丁目子供会幹事
- 北大和高等学校同窓会会長
- 奈良西ライオンズクラブ会員
- 奈良市ウエイトリフティング協会副会長
- 少林寺拳法奈良中央道院顧問
- 国際空手道連盟極真会館 奈良支部相談役
- 奈良商工会議所青年部朋友会会員
- 奈良市ラグビーフットボール協会副会長

<http://moritakazunari.com>

